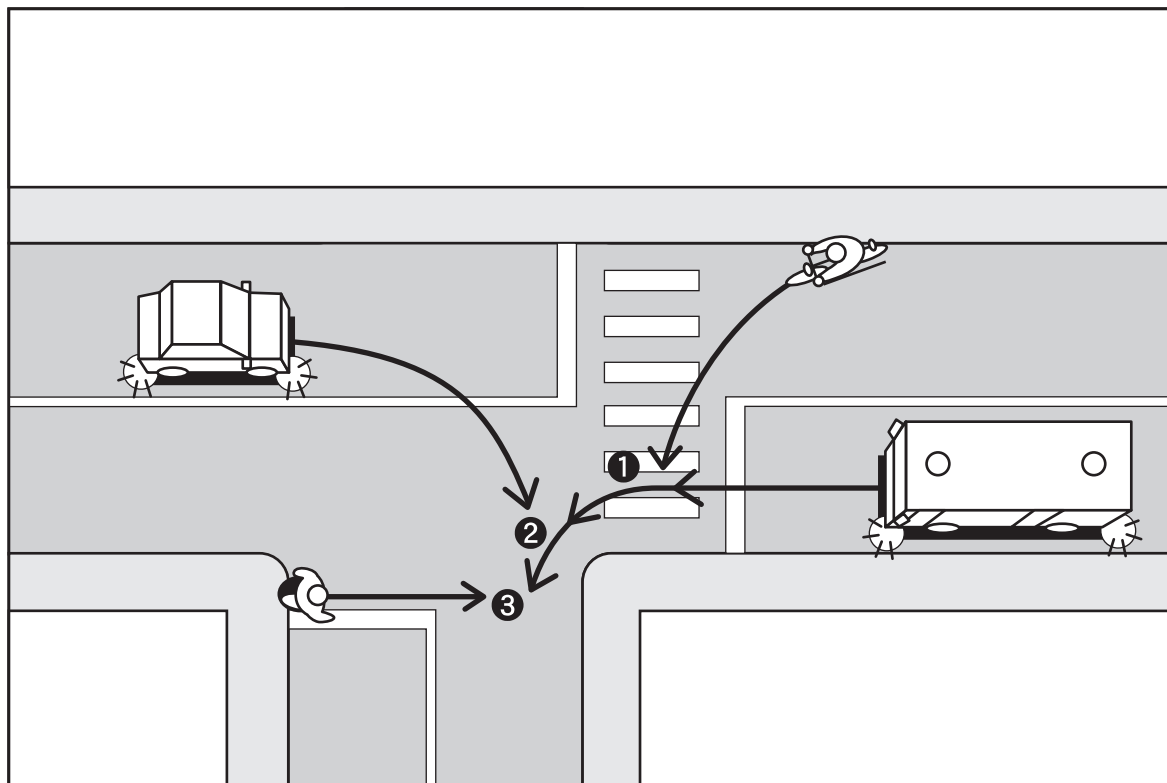


〔バス4〕 T字路を左折



1．主な危険要因の例

- ① 道路の右側から自転車が横断しようとしており、このまま進行するとはねる危険がある。
- ② 右の合図を出した対向車がそのまま強引に右折してくると、衝突する危険がある。
- ③ 子供がT字路を横断しようとしており、このまま左折するとはねる危険がある。

2．安全運転の例

自転車は車の直前を横断するなど危険な行動をとることがよくあるので、自転車の動向に十分注意するとともに、自転車に停止する気配が見られない場合は先に行かせる。

対向右折車や子供の動向に注意しながら、いつでも停止できる速度で進行する。

3．乗務員指導のポイント

次のような自転車のとりやすい危険な行動について理解させる。

- ・道路の状況を確認しないで横断してくる。
 - ・後方を確認せずにいきなり進路変更をする。
 - ・信号無視などルールを守らない行動をとる。
- 次のような左折時の安全走行の基本について再確認させる。
- ・早めに左折の合図を出す。
 - ・左後方や左側方、横断歩行者、対向右折車などの動向を確認する。
 - ・いつでも停止できる速度で進行する。